

【学習のねらい】

ワークシートのCさんの発言を読み、その場にかかわる人の分類表をグループで作成することを通して、自分自身の内面を見つめるとともに、その人の気持ちを理解し、今後どう対処していくことが必要なのかを考える。

【準備するもの】

- ・ワークシート（事例の絵と文）
- ・分類表（記入用紙）個人用と全体用（黒板に大きくまとめる）

【進め方】

- (1) 事例のマンガを見せながら、A～Eの立場について分類表をもとに説明する。
「このようにCさんが話すとき、自分はどの立場に一番近いか考えてください。」
- (2) 記入用紙（分類表）に、各自が選んだ立場（A～Eのどれか）で「設問1 どんな気持ちか？」を記入する。
- (3) グループで互いに公開し合いながら、「設問1」をすべて記入してもらう。
- (4) グループの代表に、話し合われた内容を発表してもらい、黒板の全体用の表に記入し、まとめる。
※まとめられた内容がなかなか表面化しないことや、気づいても行動に移すことが難しい「心の動き」について考え合いたい。
- (5) 「設問2 これからどうしていくことがよいか？」についても、各人記入してから、同じように(3)、(4)の活動をしてもらう。ファシリテーターは黒板の全体用の表に記入する。
※その場でできそうなこと、今後学習していきたい内容など、できるだけ具体的に考えていきたい。
- (6) グループで感想を話し合い、まとめとする。

【留意点】

- (1) 私たちの社会には、傍観者的な意識がいかに強いのか、そしてそのことが人権侵害につながっていることに気づき合いたい。
- (2) 役割分担によるロールプレイをやり、その立場に立ったときの思いを語り合うことも有効である。その上で、全体学習の中で「設問1」について分類表にファシリテーターが記入していくこともできる。

【発展】

同和問題ばかりでなく、様々な人権に関する事例について考える機会として発展できる。

あなたは、どの人？

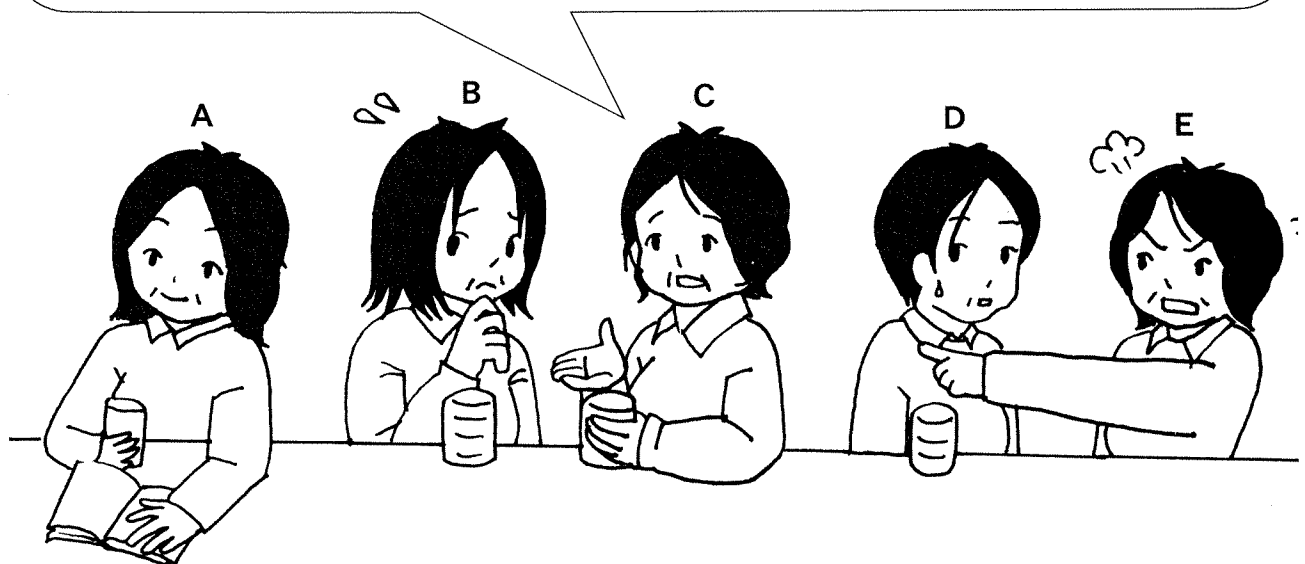
次の事例を読んで考えてみましょう。

毎月1回行われる公民館の女性教室にはいろいろな講座があり、学級生の皆さんの楽しい交流の場です。

先日、講座の休憩時間に、5人の仲間が一つのテーブルのまわりでお茶を飲んでいました。しばらくして、Cさんが誰にともなく、こんなことを話し始めました。

ああ、悩んじゃうわ。30歳になる私の息子にやっと結婚したい人ができたらしいのよ。「どんな人かな」と思って、息子に「その女性のことを調べてみた？」と話したら、「今どきそんなことをするなんておかしい」と言われてしまったの。

そんなこと、私もわかっているのよ。でも、調べてみないとどんな人か分からないでしょ。もし、同和地区の人だったら、私はよくても……親戚が何て言うか分からないし……。息子は、分かってもきっと「結婚する」って言い切ると思うの。息子の話を聞いていると、相手はとっても素直ないい人みたいで……。でも、やっぱり、相手の女性のことを調べてみたほうがいいかなあ。



- Aさん＝関心がなく、Cさんの発言が人権侵害につながるとは気づかない人
- Bさん＝Cさんの発言が人権侵害につながることに気づき、どうしようか迷っている人
- Cさん＝人権侵害につながる行為をしようとしている人
- Dさん＝Cさんの発言が人権侵害につながると気づきながらも、関わりたくないと思っている人
- Eさん＝人権侵害につながる発言を許さず、注意しようとしている人

分類表（記入用紙） 〈個人用〉

行動の分類	[設問 1] どんな気持ちか？	[設問 2] これから、 どうしていくことがよいか？
A：気づかない人 (無関心者)		
B：迷っている人 (善意の傍観者)		
C：人権侵害の行 為をしようと している人		
D：関わりたくな い人 (傍観者)		
E：注意しようと している人		